

別表第一 道路事業に係る参考項目

備考 二一 一九八七六五四三二一	土地又は工作物の存在及び供用		工事の実施				環境影響要因の区分		環境要素の区分		
	道路の存在（掘割式）	道路の存在（嵩上式）	工事用道路等の設置	工事施工ヤードの設置	切土工等及び道路等の設置	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	建設機械の稼働	大気環境	水環境	生物多様性	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								窒素酸化物質	大気環境	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								浮遊粒子状物質	大気環境	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								粉じん等	大気環境	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								騒音	騒音	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								振動	振動	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								土砂による水の濁り	水質	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								重要な地形及び地質	地形及び地質	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								日照障害	その他の環境要素	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								重要な種及び注目すべき生物	動物	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								重要な種及び群落	植物	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								地域を特徴づける生態系	生態系	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								主要な眺望点及び重要な眺望資源	景観	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								主要な人と自然との触れ合いの活動の場	人と自然との触れ合いの活動	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ
この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望景観と自然との触れ合いの活動の場をいう。								建設工事に伴う副産物	廃棄物等	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との豊かさ

別表第二 林道事業に係る参考項目

環境要素 の区分	環境影響要因 の区分			環境要素 の区分
	水環境	水質	土砂による水の濁り	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水環境		○	土壌に係る環境 その他の環境
		地形及び地質		
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物		○	重要な種及び注目すべき生息地
	植物		○	重要な種及び群落
	生態系		○	地域を特徴づける生態系
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観		○	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観
	人と自然との触れ合いの活動の場		○	主要な人と自然との触れ合いの活動の場
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		○	建設工事に伴う副産物

備考

- 一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものを示す。
- 二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる林道事業の内容を踏まえて区分したものである。
 - 1 林道の構造は、地表式、堀割式又は嵩上式とする。
 - 2 建設機械を用いて、造成工事及び林道等の設置の工事を行う。
 - 3 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。
 - 4 工事の完了後、当該事業による林道等が存在し、かつ、当該林道上を自動車が行く。
- 三 別表第一の備考第四号から第九号までの規定は、この表において準用する。

別表第四 概事業に係る参考項目

環境影響要因の区分	環境要素の区分		工事の実施						土地又は工作物の存在及び供用の存在
	大気環境	水環境	掘削の工事	護岸の工事	堰及び護岸の存在	堰の供用及び湛水区域の存在	建設機械の稼働	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	
大気環境	大気質	窒素酸化物					○	○	
		粉じん等					○	○	
	騒音	騒音					○	○	
	振動	振動					○	○	
水環境	水質	土砂による水の濁り		○					
		富栄養化					○		
		溶存酸素量					○		
	底質	水底の泥土					○		
	地下水	地下水の水位					○		
土壌に係る環境	地質及び地形	重要な地形及び地質					○		
動物		重要な種及び注目すべき生息地					○		
植物		重要な種及び群落					○		
生態系		地域を特徴づける生態系					○		
景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観					○		
人と自然との触れ合いの場の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場					○		
廃棄物等		建設工事に伴う副産物					○		

備考

一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものを示す。

二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる概事業の内容を踏まえて区分したものである。

1 建設機械を用いて、堰、護岸及び掘削の工事を行う。

2 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。

3 工事の完了後、当該事業による堰、護岸等の施設及び湛水区域が存在し、かつ、当該堰を流水の貯留又は取水の用に供する。

三 別表第一の備考第三号から第八号までの規定は、この表において準用する。

別表第五 放水路事業に係る参考項目

環境要素の区分	環境影響要因の区分					環境要素の区分	
	建設機械の稼働	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	洪水を分流させる施設	掘削の工事	堤防の工事		
環境要素の区分	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	
		騒音	粉じん等	○	○		
			騒音	○	○		
			振動	○	○		
	水環境	水質	土砂による水の濁り	○	○		
			地下水	地下水の塩素イオン濃度	○		○
		他	地形及び地質	重要な地形及び地質	○		○
			地盤	地下水の水位の低下による地盤沈下	○		○
	動物	動物	重要な種及び注目すべき生息地	○	○		
		植物	重要な種及び群落	○	○		
生態系		地域を特徴づける生態系	○	○			
景観	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望の場	○	○			
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○	○			
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	○	○	環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素			

備考
 一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあることを示す。
 二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる放水路事業の内容を踏まえて区分したものである。
 1 建設機械を用いて、洪水を分流させる施設、掘削及び堤防の工事を行う。
 2 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。
 3 工事の完了後、当該事業による堤防や洪水を分流させる施設を含む放水路が存在し、かつ、当該放水路を洪水調節の用に供する。
 三 別表第一の備考第三号から第八号までの規定は、この表において準用する。

備考	土地又は工作物の存在		工事の実施		環境影響要因の区分	環境要素の区分		環境要素		
	物の存在	工作物の存在	切土工等及び発電施設等の設置	建設機械の稼働 資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行		大気環境	水環境			
<p>○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる水力発電所事業の内容を踏まえ区分したものである。</p> <p>建設機械を用いて、造成工事並びに発電施設及び貯水池等の設置の工事を行う。</p> <p>工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。</p> <p>工事の完了後、当該事業による発電施設及び貯水池等が存在し、かつ、当該発電施設において発電を行う。</p> <p>別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。</p>	○			○	窒素酸化物等	大気質	大気環境	<p>環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>		
				○	○	騒音	騒音			
				○	○	振動	振動			
		○				水の汚れ	水質		水環境	
			○		○	土砂による水の濁り				
			○			富栄養化				
			○			溶存酸素量				
			○			水温				
				○		水素イオン濃度				
		○				重要な地形及び地質	地形及び地質		土壌に係る他の環境	
		○				重要な種及び注目すべき生物			動物	<p>生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>
		○				重要な種及び群落			植物	
		○				地域を特徴づける生態系			生態系	
		○			主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観		景観	<p>人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>		
	○				主要な人との活動の場		人と自然との触れ合いの活動の場			
			○		建設工事に伴う副産物		廃棄物等	環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき環境要素		

別表第九 火力発電所事業に係る参考項目

環境要素の区分	環境要素の区分		環境影響要因の区分												
	大気環境					水環境					土壌・生物・その他				
	大気質	騒音	振動	水質	底質	その他	地形及地質	生物	植物	生態系	景観	人と自然との関係	廃棄物等	温室効果ガス	
硫酸化物															
窒素酸化物															
浮遊粒子状物質															
石炭粉じん															
粉じん等															
騒音															
振動															
水の汚れ															
土砂による水の濁り															
富栄養化															
水温															
有害物質															
流向及び流速															
重要な地形及び地質															
重要な種及び注目すべき生物を除外する															
海域に生息する動物															
重要な種及び群落を生育させるものを除外する															
海域に生育する植物															
地域を特徴づける生態系															
主要な眺望点及び資源並びに主要な眺望景観															
主要な人と自然との関係の場															
建設工事に伴う副産物															
産業廃棄物															
二酸化炭素等															

環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素

備考

一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあることを示す。

二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる火力発電所事業の内容を踏まえて区分したものである。

1 燃料の種類は、天然ガス（LNGを含む）、石炭、石油又は副生ガスとする。

2 建設機械を用いて、造成工事（しゅんせつ工事、港湾工事及び発電施設等の設置の工事を行う）。

3 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。

4 工事の完了後、当該事業による発電施設等が存在し、かつ、当該発電施設において発電を行う。

5 冷却には海水を利用し、温排水が発生する。

6 事業活動に伴う資材等の搬出入は車両又は船舶により行う。

三 別表第一の備考第二号から第九号までの規定は、この表において準用する。

別表第十一 1 尿処理施設事業に係る参考項目

環境要素の区分	環境影響要因の区分		工事の実施				土地又は工作物の存在及び供用	
	建設機械の稼働	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	切土工等及び処理施設等の設置	地形変更後の土地及び施設の存在	施設の稼働	し尿等の搬出入	廃棄物の発生	
大気環境	大気質	窒素酸化物	○			○		
		粉じん等	○			○		
	騒音	騒音	○			○		
	振動	振動	○			○		
	悪臭	悪臭				○		
水環境	水質	水の汚れ				○		
		土砂による水の濁り			○			
土壌に係る他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○		
	動物	重要な種及び注目すべき生息地				○		
		植物	重要な種及び群落				○	
生態系	地域を特徴づける生態系				○			
景観	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望の場				○		
		主要な人と自然との触れ合いの活動の場				○		
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	建設工事に伴う副産物					○	
		一般廃棄物					○	

備考
 一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。
 二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げるし尿処理施設事業の内容を踏まえて区分したものである。
 1 建設機械を用いて、造成工事及び処理施設等の設置の工事を行う。
 2 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。
 3 工事の完了後、当該事業による処理施設等が存在し、かつ、当該処理施設においてし尿の処理を行う。
 4 事業活動に伴うし尿等の搬出入は車両により行う。
 三 別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。

別表第十二 産業廃棄物焼却施設事業に係る参考項目

備考	土地又は工作物の存在及び供用				工事の実施			環境影響要因の区分		環境要素の区分					
	廃棄物の発生	廃棄物の搬出入	施設の稼働		地形変化後の土地及び施設の存在	切土工等及び焼却施設等の設置	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	建設機械の稼働	大気質	騒音	振動	悪臭			
			排水	排出ガス									水質	土砂に	
<p>一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる産業廃棄物焼却施設事業の内容を踏まえて区分したものである。</p> <p>三 建設機械を用いて、造成工事及び焼却施設等の設置の工事を行う。</p> <p>四 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。</p> <p>五 工事の完了後、当該事業による焼却施設等が存在し、かつ、当該焼却施設において産業廃棄物の焼却を行う。</p> <p>六 事業活動に伴う産業廃棄物の搬出入は車両により行う。</p> <p>七 別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。</p>				○									環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
									硫酸 化物					大気環境	
		○							窒素 酸化物						
									浮遊 塵状物						
		○							粉じん 等		○	○			
									有害 物質						
		○	○						騒音		○	○			
		○	○						振動		○	○			
									悪臭						
									水の 汚れ					水環境	
							○		土砂に よる水 の濁り						
						○			地形及 び地質					土壌に 係る環 境の環	
						○			重要 な種 及び 注目 地生					動物	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
						○			重要 な種 及び 群落					植物	
						○			地域 的特 徴を 生					生態系	
						○			主要 な景 観資 源					景観	人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
					○			主要 な自 然と 人の 活動 の場					人と自 然との 活動 の場	環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	
					○			建設工 事に伴 う副産 物					廃棄物等		
	○							産業 廃棄 物						温室 効果 ガス 等	
								二酸化 炭素							

別表第十三 最終処分場事業に係る参考項目

土地又は工事の供用及び存在				工事の実施						環境影響要因の区分		環境要素の区分				
浸出液処理施設の稼働	埋立・覆土用機械の稼働	最終処分場の存在（水面埋立）	最終処分場の存在（陸上埋立）	堤防工、護岸工及び施設等の設置（水面埋立）	切土工等及び施設等の設置（陸上埋立）	航（水面埋立）に用いる船舶の運搬	資材及び機械等の運搬	資材及び機械等の運搬	作業船の稼働（水面埋立）	建設機械の稼働	硫黄酸化物	大気質	大気環境	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
						○			○		窒素酸化物					
	○					○	○	○	○		等粉じん					
○	○						○		○		騒音	騒音				
○	○						○		○		振動	振動				
											悪臭	悪臭				
		○									水の汚れ	水質	水環境			
	○			○	○						土砂による濁り					
		○									富栄養化					
											有害物質					
				○							有害物質	底質				
			○								地下水の流れ	地下水				
		○									重要な地形及び地質	地形及び地質	土壌に係る環境			
		○									重要な種及び注目すべき生物		動物	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
		○									重要な種及び群落		植物			
		○									地域を特徴づける生態系		生態系			
		○									主要な眺望景観並びに主要な視資源		景観	人と自然との豊かな関係の確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
		○									主要な眺望景観並びに主要な視資源		景観			
											主要な人と自然との関係の活用		人と自然との関係の活用			
				○							建設工事に伴う副産物		廃棄物	環境への負荷の程度に より予測及び評価されるべき環境要素		
											メタンガス等	温室効果ガス等				

備考				
	浸出液処理水の排出 (水面埋立)	浸出液処理水の排出 (陸上埋立)	廃棄物の存在・分解	廃棄物及び覆土材の 運搬に用いる船舶の 運航(水面埋立)
三				○
別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。				○
8				○
7				○
6				○
5				○
4				○
3				○
2				○
1				○
備考				○

○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。

この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる最終処分場の管理型最終処分場として区分したものである。

1 最終処分場においては、建設機械を用いて、造成工事及び浸出液処理施設等の設置の工事を行う。

2 陸上埋立においては、建設機械及び作業船を用いて、堤防工、護岸工、造成工事及び浸出液処理施設等の設置の工事を行う。

3 水面埋立においては、工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両又は船舶により行う。

4 陸上埋立においては、工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両又は船舶により行う。

5 水面埋立においては、工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両又は船舶により行う。

6 工事の完了後、当該事業活動に伴う産業廃棄物の搬出入は車両又は船舶により行う。

7 陸上埋立においては、事業活動に伴う産業廃棄物の搬出入は車両又は船舶により行う。

8 水面埋立においては、事業活動に伴う産業廃棄物の搬出入は車両又は船舶により行う。

別表第十四 公有水面の埋立又は干拓事業に係る参考項目

環境影響要因の区分	環境要素の区分								
	大気環境	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との関係	環境への負荷の量
硫酸化物	○								
窒素化合物	○								
浮遊粒子状物質	○								
粉じん等	○								
騒音	○								
振動	○								
水の汚れ		○							
土砂による濁り			○						
富栄養化		○							
有害物質				○					
重要な地形及び地質			○						
重要な種及び注目すべき地生			○						
重要な種及び群落			○						
地域を特徴づける生態系			○						
主要な眺望景観			○						
主要な眺望景観			○						
主要な眺望景観			○						
建設に伴う副産物				○					

備考
 一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。
 二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる公有水面の埋立又は干拓事業の内容を踏まえて区分したものである。
 三 別表第一の備考第三号から第八号までの規定は、この表において準用する。

環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
 人と自然との関係の確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
 環境への負荷の量のより予測及び評価されるべき環境要素

備考	土地又は工作物の存在及び供用			工事の実施			環境影響要因の区分		環境要素の区分		環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価		
	自動車の走行	宅地等における人の活動	地形改変後の土地及び工作物の存在	切土工等及び工作物の建設	搬入に用いる車両の運行	資材及び機械等の運搬	建設機械の稼働	大気質	大気環境	騒音		振動	
<p>三 別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。</p> <p>3 2 1 かつ、当該敷地において人の活動がある。</p> <p>この表に掲げる環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>○印は、各欄に掲げる環境影響要因の区分は、次に掲げる土地区画整理事業の内容を踏まえて区分したものである。</p> <p>建設機械を用いて、造成工事及び工作物の建設の工事を行う。</p> <p>工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。</p> <p>公園・緑地、調整池及び給・排水施設等の公共施設、住宅施設、教育施設並びに商業・業務施設等の工作物が存し、</p>	○				○		○	窒素酸化	大気環境	騒音	水環境	<p>生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p> <p>人と自然との豊かな環境の確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p> <p>土壌に係る他の環境要素</p> <p>動物</p> <p>植物</p> <p>生態系</p> <p>景観</p> <p>人と自然との豊かな環境</p> <p>廃棄物等</p>	
	○				○		○	粉じん等		騒音			
	○				○		○	振動		振動			
	○							水の汚れ		水質			
		○						土砂による水の濁り		土壌に係る他の環境要素	動物		植物
				○				重要な地形及び地質	地形及び地質				
				○				重要な種及び注目すべき生物		生態系	動物		植物
				○				重要な種及び群落					
				○				地域を特徴づける生態系		景観	動物		植物
				○				主要な眺望ポイント及び景観資源並びに主要な眺望					
				○				主要な人と自然との活動の場		人と自然との豊かな環境	動物		植物
								建設工事に伴う副産物	廃棄物等				

備考	土地又は工事の存在及び供用			工事の実施			環境影響要因の区分		環境要素の区分	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	
	自動車等の走行	宅地の活動	地形改変後の土地及び工作物の存在	切土工等及び工作物の建設	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	建設機械の稼働	窒素酸化物	大気環境			
<p>三 別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。</p> <p>三 1 〇印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>二 〇印は、この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる新住宅市街地開発事業の内容を踏まえて区分したものである。</p> <p>一 建設機械を用いて、造成工事及び工作物の建設の工事を行う。</p> <p>二 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。</p> <p>三 工事の完了後、当該事業による敷地に道路、公園・緑地、調整池及び給・排水施設等の公共施設、住宅施設、教育施設並びに商業・業務施設等の工作物が存在し、かつ、当該敷地において人の活動がある。</p>	○				○	○	窒素酸化物	大気環境	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
	○				○	○	粉じん等	大気環境			
	○				○	○	騒音	騒音			
	○				○	○	振動	振動			
		○						水の汚れ	水質	水環境	
				○			土砂による水の濁り				
				○				重要な地形及び地質	地形及び地質	土壌に係る他の環境要素	
				○				重要な種及び注目すべき生物		動物	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的評価を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
				○				重要な種及び群落		植物	
				○				地域を特徴づける生態系		生態系	
				○				主要な眺望ポイント及び景観資源		景観	人と自然との豊かな環境を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
				○				主要な人と自然との活動の場	人と自然との活動の場		
			○				建設に伴う副産物		廃棄物等	環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき環境要素	

環境要素 の区分	環境影響要因 の区分		工事の実施				土地又は物の存在及び供用	
	建設機械の稼働	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	切土工等及び工場等の設置	地形改変後の土地及び工場等の存在	工場及び事業場の稼働	資材等の搬出入		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	硫酸化物					○	
		窒素酸化物	○				○	
		浮遊粒子状物質					○	
	騒音	騒音	○					○
		振動	○					○
		振動						○
水環境	水質						○	
	土砂による水の濁り			○				
土壌に係る他の環境要素	地形及び地質				○			
	重要な地形及び地質				○			
	重要な種及び注目の生き物				○			
	重要な種及び群落				○			
生態系	地域を特徴づける生態系				○			
	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望				○			
人と自然との触れ合いの活動の場	人と自然との触れ合いの活動の場				○			
	建設工事に伴う副産物						○	
廃棄物等	産業廃棄物						○	
	建設工事に伴う副産物						○	

備考

- 一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。
- 二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる工場及び事業場事業の内容を踏まえて区分したものである。
- 三 建設機械を用いて、造成工事及び工場等の設置の工事を行う。
- 四 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。
- 五 工事の完了後、当該事業による工場等が存在し、かつ、当該工場等において事業活動を行う。
- 六 事業活動に伴う資材等の搬出入は車両により行う。

別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。

環境影響要因の区分	工事の実施				環境要素の区分	環境要素	
	建設機械の稼働	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	切土工等及び工作物の建設	地形改変後の土地及び工作物の存在			資材等の搬出入
環境影響要因の区分	○	○			大気環境	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	
	○	○			大気質		
	○	○			窒素酸化物		
	○	○			粉じん等		
	○	○			騒音	騒音	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素
	○	○			振動	振動	
	○	○			水質	水環境	
	○	○			土砂による水の濁り	水環境	
			○		地形及び地質	地形及び地質	土壌に係る他の環境要素
				○	重要な地形及び地質	動物	
				○	重要な種及び注目すべき生物	植物	
				○	重要な種及び群落	生態系	
			○	地域を特徴づける生態系	景観	人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	
			○	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望	人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
			○	主要な人と自然との活動の場	人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
		○		建設工事に伴う副産物	廃棄物等	環境への負荷の量より予測及び評価されるべき環境要素	

備考

一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。

二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる流通業務団地造成事業の内容を踏まえて区分したものである。

1 建設機械を用いて、造成工事及び工作物の建設の工事を行う。

2 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。

3 1 工事の完了後、当該事業による敷地に道路、公園・緑地、調整池及び給・排水施設等の公共施設、トラックターミナル、卸売市場並びに倉庫・貯蔵庫等の工作物が存在し、かつ、事業活動に伴う資材等の搬出入を車両により行う。

三 別表第一の備考第三号から第九号までの規定は、この表において準用する。

備考	土地又は工場の存在及び供用			工事の実施			環境影響要因の区分				環境要素の区分			
	自動車の走行	施設の利用	地形及び土地の存在	切土工等及び工場の建設	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	建設機械の稼働	大気環境		水環境			土壌に係る他の環境		
							窒素酸化物	粉じん等	騒音	振動			水質	土砂による水の濁り
<p>一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げるレクリエーション施設事業の内容を踏まえて区分したものである。</p> <p>三 建設機械を用いて、造成工事及び副産物の建設の工事を行う。</p> <p>四 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。</p> <p>五 工事の完了後、当該事業に係る交通手段は車両とする。</p> <p>六 当該施設の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>七 当該施設をレクリエーションの用に供する。</p>	○				○	○						<p>大気環境</p> <p>環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>		
					○	○								
					○	○								
					○	○								
		○											<p>水環境</p> <p>土壌に係る他の環境</p>	
					○									
				○									<p>動物</p> <p>植物</p> <p>生態系</p>	
				○										
				○										
				○									<p>景観</p> <p>人と自然との豊かさ</p>	
				○										
				○									<p>人と自然との豊かさ</p> <p>環境への負荷の程度</p>	
			○											
				○								<p>環境要素</p> <p>建設工事に伴う副産物</p>		

備考	土地又は工作物の存在及び供用			工事の実施			環境影響要因の区分				環境要素の区分	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素						
	自動車の走行	ゴルフ場の供用	地形及び工作物の存在	切土工等の建設物の建設	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	建設機械の稼働	大気環境	騒音	振動	水環境			土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境
<p>一 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>二 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げるゴルフ場事業の内容を踏まえて区分したものである。</p> <p>三 建設機械を用いて、造成工事及び工作物の建設の工事を行う。</p> <p>四 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。</p> <p>五 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>六 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>七 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>八 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>九 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>十 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>十一 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>十二 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p> <p>十三 当該ゴルフ場の利用に係る交通手段は車両とする。</p>	○				○	○	大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量	
					○	○	大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量	
						○	○	大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
						○	○	大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
		○						大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
					○			大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
							○	大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
			○					大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
				○				大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
								大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
								大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
								大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量
								大気環境	騒音	振動	水環境	土壌に係る他の環境	動物	植物	生態系	景観	人と自然との豊かな環境	環境への負荷の量

環境影響要素の区分	工事の実施				土地又は工作物の存在及び供用			
	建設機械の稼働	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	プラントの建設	採取場の存在	土石の採取等の事業活動	動	土石等の搬出入	備考
環境影響要素の区分	大気環境	窒素酸化物	○	○				○印は、各欄に掲げる環境影響要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。 この表における「環境影響要素の区分」は、次に掲げる土石の採取事業の内容を踏まえて区分したものである。 1 建設機械を用いて、造成工事及びプラントの建設工事等を行う。 2 工事の実施に伴う資材、機械及び副産物の運搬は車両により行う。 3 工事の完了後、当該事業による採取場及びプラント等が存在し、かつ、当該プラント及び採掘機械の稼働により土石の採取等の事業活動を行う。 4 事業活動に伴う土石等の搬出入は車両により行う。 別表第一の備考第三号から第八号までの規定は、この表において準用する。
		粉じん等	○	○				
		騒音	○	○				
		振動	○	○				
	水環境	水質			○			
		土壌に係る他の環境	地形及び地質			○		
	動物	植物	重要な種及び注目すべき生物			○		
						○		
						○		
	景観	人と自然との関係	主要な眺望点及び景観資源			○		
			主要な眺望点及び景観資源との関係			○		
	廃棄物等	人と自然との関係	建設工事に伴う副産物			○		
建設工事に伴う副産物					○			

環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

人と自然との豊かな関係の確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

環境への負荷の量より予測及び評価されるべき環境要素

